令和５年８月２０日（日）西区スポーツセンター中体育室において、西区スポーツ推進委員協議会「軽スポーツ研修会（ふうせんバレーボール）」を開催しました。
最初に研修部がルールの説明をして、チームに分かれてゲーム形式で実践研修を行いました。バレーボールとは違い、ふうせんが軽いので、思うようなところにいかず、いろんな場面を想定しながら意見を出し合い研修を行いました。
障がいの有無に関わらず、すべての人が楽しめる、ふうせんバレーボール。地域にもちかえり、地域の方たちに紹介し、共生社会の実現目指していきたいと思っています。
興味のある方は、各学区のスポーツ推進委員または西区スポーツセンターにお問い合わせください。

ふうせんバレーボールとは、障がいのある人も障がいのない人も子供も高齢者も一緒に同じコートの中で楽しむことのできるスポーツ。
バドミントンコートとネットを使用し、ネットから 2.5ｍのラインをサービスライン（アタックライン）とし、ボールは鈴入りの直径 35～40cm のゴムふうせんを使用する。1 チーム 6 人でプレーし、チームの全員がふうせんにふれてから、10 回以内に相手コートに返球する、プレイヤーすべての人が楽しめるスポーツ。









